# １．総合試験に関すること

## 1.1．総合試験の目的

　サブシステム間のインタフェースにおいてデータの連携が正しく行われる事を確認するためだ。

　要件定義書に沿って、完全システムが正しくを確認するためだ。

　観客に安全に使ってもらうためだ。

　業務に円滑するためだ。

　バグをなくすためだ。

## 1.2．総合試験の環境

ウィンドウズ、パソコン、ローカルホストで実施した。

## 1.3．総合試験の方法

　総合テスト計画を立てる。

　修正にかかる工数や体制を予め取っておく。

　総合テスト仕様書は基本設計書や外部設計書を基に作成する。

　サブシステム間のインタフェースのデータパターンを漏れなく洗い出す。

　機能毎にデータパターンを整理する。

　総合テスト計画書や総合テスト仕様書のレビューを行い、テストパターンやテスト項目の過不足、テストの妥当性についてチェックする。

　サブシステム間を通して、一連の機能を検証する。

　総合テスト結果を評価し、次の工程に進むべきかどうかの判定を行う。

# ２．総合試験計画

# ３．総合試験仕様書

# ４．システム評価

画面が見やすい、分かりやすい。

操作性がかなり良い。

応答時間が早い、処理速度も良い。